

第3回有識者懇談会における主な意見について

| 項目 | 内容 | 今後の整理について |
|-----------------|---|---|
| 公立大学の全体像について | <ul style="list-style-type: none"> 旭川大学の回答文書には、公立化に当たっての理念がない。 まずはどういう大学をつくりたいかを考えるべきである。 地域の企業と大学との関係で必要な人材を育成し、就職させるようなことを考える必要がある。 公立大学の性質上、地域貢献も必要だが、国から交付税が入ることを考えると、国全体への貢献も考えていいと思う。 魅力ある大学である必要があり、充足率100%未満を考えることはあり得ない。 今後の少子化の影響を踏まえると、長期的な将来構想も必要である。 | 今後有識者懇談会の意見を整理する中で検討する。 |
| 学部、学科の見直し全体について | <ul style="list-style-type: none"> 地域の基幹産業との関係も考える必要がある。 学生の確保という視点だけではなく、海外の留学生が学びたいと思うような大学を目指す必要がある。 地域には理学部や英語、コミュニケーション系の学部を志向する学生がいる。 農業、大雪山など旭川周辺における地理的、歴史的なものを考慮する必要がある。 学生のためのカリキュラム、環境、教員という視点が重要である。 | 学部・学科の見直し及びものづくり系学部等についてのまとめに係る意見聴取の中で整理する。 |
| 経済学部について | <ul style="list-style-type: none"> 市内の企業の後継者を育てる機能だけではだめで、改めて考える必要がある。 旭川大学の回答にある経済学部の見直し内容はかなり遅れているように見える。 経済学部の中にデザインを含めることはできない。経済は分析的要素が強く、デザインは創造である。 経済学部はスクラップアンドビルドしなければならないのではないか。 | 学部・学科の見直し及びものづくり系学部等についてのまとめに係る意見聴取の中で整理する。 |
| 保健福祉学部について | <ul style="list-style-type: none"> 福祉については、地域で待遇改善をしながら必要な人材を育成させる視点が必要である。 福祉系については、専門学校等でも行っていることを考慮する必要がある。 | 学部・学科の見直し及びものづくり系学部等についてのまとめに係る意見聴取の中で整理する。 |
| 短大について | <ul style="list-style-type: none"> 将来を見据えて4大に移行するのかどうかを考えておく必要があるのではないか。 短大の食物栄養、幼児教育、福祉は、デザインとの関係で活用できる要素がある。 | 今後旭川大学と協議していく。 |
| 他の公立大学との関係について | <ul style="list-style-type: none"> 道内にある他の公立大学への影響についても考慮する必要がある。 | 今後有識者懇談会の意見を整理する中で検討する。 |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> 地元の実務的な教員が教えることも考えられる。 オンリーワンの大学を目指すと海外から学生は集まる。 市外から学生が集まり、旭川に定着することが望ましい。 旭川大学はこれまでダム機能を果たしてきたと言える。 地元の学生が入学しやすくなるような地域枠も考えられるのではないか。 | 今後有識者懇談会の意見を整理する中で検討する。 |